

一般質問日程 12月12日(金)

令和7年12月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
1	2	田 村 耕 作	<p>1. 姉妹都市・友好都市等のあり方について</p> <p>(1) 姉妹都市・友好都市等のあり方について</p> <p>①今までどのような交流や親善を図ってきたのか伺う。</p> <p>②交流・親善を図ってきた中で、観光や産業等日光市にとって有効な事業展開等はあったのか伺う。</p>
2	4	福 田 悦 子	<p>1. お悔やみコーナーの設置について</p> <p>(1) お悔やみコーナーの設置について</p> <p>死亡・相続に関する公的な手続を効率的に行うことを目的としている行政サービスである「お悔やみコーナー」は、全国の自治体で導入が進んでいる。</p> <p>国の2024年度の調査結果では、約34パーセントの自治体が既にお悔やみコーナーを設置し、さらに今後の実施予定を含めると約47パーセントに達する見込みである。</p> <p>2025年2月議会にて、お悔やみコーナーの設置を提案したが、当時の粉川市長は、「総合的に少し検討しなければいけない。他市の運用状況も少し見て、1年とは言ったが実施可能な形が見いだせれば、それは早急に取り組んだほうがいいことなので、少しお時間をいただいて、しっかり取り組めるように検証してまいりたい」と答弁していた。</p> <p>「お悔やみコーナー」設置に関し、この間の検証でどのような結果を出したのか伺う。</p> <p>2. 外国人介護労働者の実態と課題について</p> <p>(1) 外国人介護労働者の実態と課題について</p> <p>厚生労働省の推計では、2026年度には介護職員が全国で25万人不足し、栃木県は必要な職員数3万5,271人に対し、実際に確保できる見通しの職員数は2万7,196人。8,075人が足りないこととなる。当市においても介護人材の不足が深刻化し、打開策の一つとして期待されているのが外国人介護労</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 12月12日（金）

令和7年12月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
2	4	福 田 悦 子	<p>働者の受け入れである。当市の外国人介護労働者の実態を伺う。</p> <p>また、昨年、一般質問で、介護施設における外国人労働者の課題について、「介護現場で働く外国人は増加傾向にあり、受入れ先となる市内事業所において住まいや交通手段などの生活全般への支援に伴う負担が大きいことが課題であると捉えている」と答弁であった。</p> <p>また、「雇い入れている施設での問題・課題をきちんと調査を行い、実情を把握すべきではないか」との質問に「実際に雇用される事業所の意見を取り入れて支援というのは考えていくべきだと思う。機会を捉えて市内事業所の意見聴取に努めてまいりたい」と答弁が出されていた。</p> <p>慣れない国で働く外国人や、外国人を採用している事業者が抱える問題などを解決する上で、課題の調査は重要であるが、その結果はどうであったのか伺う。</p> <p>3. 夜間中学について</p> <p>（1）夜間中学について</p> <p>夜間中学校は、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した人や不登校など様々な事情により十分な教育を受けられなかった人や外国籍の人などが学ぶ場として、重要な役割を果たしている。</p> <p>現在、全国の不登校児童生徒は、過去最多の34万6,482人となり、前年度から47,434人（15.9パーセント）増加。増加は11年連続となっており深刻さが増している。</p> <p>このような現在不登校の児童生徒は教育支援センターなどにおいて学びの場は確保されているが、様々な理由で小・中学校に通うことができなかった方々の学び直しの場は存在しないのが現状である。</p> <p>また、当市に於いても外国人労働者の増加する中、「言語・識字」の問題から孤立をする外国人を生むお</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分（目安）

一般質問日程 12月12日(金)

令和7年12月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
2	4	福 田 悦 子	<p>それがある。日本語に不安がある外国人労働者やその家族に対する学びの場は生きていくための学びの場でもある。</p> <p>国が夜間中学の更なる設置促進や教育活動の充実が求めている中で、学びの場である夜間中学に対する必要性について見解を伺う。</p>
3	11	斎 藤 久 幸	<p>1. 藤原地区以北の買い物支援について</p> <p>(1) 藤原地区以北の買い物支援について</p> <p>この質問については、令和5年6月定例会において、同様の質問を行い、当時の地域振興部長からの答弁の中で、藤原地区および川治地区においては、生活物資等の購入状況について、聞き取りやアンケート調査の方法等で実態把握をしたうえで、現状と課題が見えてくると思うので、その上で地元自治会などの意見を伺いながら地域の実情に合った買い物支援の取組を検討するとの答弁でありました。そこで、次の2点についてお伺いいたします。</p> <p>①聞き取り及びアンケート調査の結果はどうだったのか。</p> <p>②結果を受け、どのような買い物支援を検討・実施していくのか。</p> <p>2. 各種選挙における投票率向上の取組について</p> <p>(1) 各種選挙における投票率向の取組について</p> <p>日本国内の各種選挙における投票率の低下が大変問題となっておりますが、直近で行われました、第27回参議院議員選挙における当市の投票率は、栃木選出議員並びに比例代表選出議員選挙とも、52.44%であり、栃木県内の全体の投票率は、栃木選出議員が、53.58%で比例代表選出議員が53.59%でありましたのでいずれも栃木県の投票率を下回っております。そこで、次の2点についてお伺いいたします。</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 12月12日(金)

令和7年12月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
3	11	齋藤久幸	<p>①この参議院選挙において当市として投票率向上に向けたどのような取組を行い、効果並びに課題はあったのか。</p> <p>②この選挙における、タスク車両の運行頻度はどの程度であり、効果並びに課題はあったのか。</p> <p>3. 熊出没対策について</p> <p>(1) 熊出没対策について</p> <p>現在、日本国内において、人の居住地域への熊の出没事件が連日、相次いでいる昨今。今年度の熊による死亡者数は、過去最悪レベルに達しており、11月7日時点ですでに13人と、最多だった2023年度の6人と比べても、異常な数であります。日光市内においては、死亡者は出ていないものの、けがをされた方はいると聞いております。</p> <p>目撃情報も多数あり、市民の不安は増大してきております。ましてや当市は多くの温泉旅館を有する観光地であり、訪れるお客様も不安なため、宿泊をキャンセルする、観光地に立ち寄らず帰ってしまうなど、お客様が減少して困っているとの声が私のところに寄せられております。そこで次の2点についてお伺いいたします。</p> <p>①今後、市民並びに観光客の不安を少しでも解消する取組を考えているのか。</p> <p>②群馬県富岡市で行った、市民向けのツキノワグマ対策研修会を当市でも行ってはどうかと思うが、市の考えは。</p>
4	8	村上正明	<p>1. 新・中央公民館について</p> <p>(1) 中央公民館移転について</p> <p>日光市は、平成の大合併時に5市町村が合併となり誕生しました。また、栃木県の4分の1の市域となります。その中には多くの公共施設が点在しているわけですが、現在、議会でも施設の老朽化や人口減少に伴う施</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 12月12日(金)

令和7年12月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
4	8	村 上 正 明	<p>設の見直し検討や建替えが議論され進められております。</p> <p>本年、今市地域の代表施設である文化施設が休館となりました。現在の2施設において、昭和52年開館の今市文化会館が8月をもって休館、昭和51年開館の中央公民館・今市公民館が11月をもって休館となりました。旧今市市民はもとより合併後にも市民を支える施設であったと感じます。時代と共に約50年に渡り市民の文化振興や地域活動に尽力された施設だと捉えております。</p> <p>しかしながら、施設が休館となり中央公民館はイオン今市店へ移転が予定されておりますが、集客力が高い利便性が高い施設と捉えられており、市民の拠点として移転後も活躍していただけると捉えております。来年の移転に向けた施設の内容について次の点を伺います。</p> <p>①中央公民館のイオン今市店への移転までの期間について、現利用者への配慮について</p> <p>②商業施設の中の設置であるが、開館時間の縮小や禁止行為など新施設での制限は設けられているのか。</p> <p>③市民からの要望など、現段階での課題について</p> <p>2. 野生獣害対策への支援について</p> <p>(1) 野生獣害対策への支援について</p> <p>近年、イノシシをはじめとする野生動物の生息エリアが広がり農林業の被害が大きな問題となっております。中山間地域では、イノシシ、シカによる農業被害は深刻で作付けを断念する農家が近年増加しており、ますます耕作放棄地が今後も増加していくと捉えております。</p> <p>また、連日クマによる被害が報道されており、当市においても目撃情報などが頻繁に報告されております。地域住民の動揺や観光客への風評被害も今年に入り増加していると捉えております。</p>

一般質問日程 12月12日(金)

令和7年12月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
4	8	村 上 正 明	<p>加えて、緊急銃猟制度が始まった中、猟友会のメンバーの減少や高齢化が進んでいると聞きました。今後、協力連携を取る中で、猟友会への環境整備や一層の支援を市として考える必要があると考えます。</p> <p>そこで、次の3点を伺います。</p> <p>①農作物等への被害の状況及び農作物等獣害防護対策事業費補助金の申請状況について</p> <p>②地域住民や観光客への周知について</p> <p>③猟友会への支援について</p>
5	5	齊 藤 正 三	<p>1. 小中学校いじめ・不登校問題について</p> <p>(1) いじめ・不登校の件数について</p> <p>県教育委員会のまとめでは、令和6年度公立小中学校のいじめ認知件数は小学校4,858件、中学校1,661件、不登校は小学校2,187件、中学校3,796人と12年連続で増加しています。</p> <p>「重大事態」に陥るケースもあることで、深刻な問題となっています。</p> <p>日光市の令和6年度のいじめ認知件数(重大事態件数)・不登校の件数などの前年度との比較、いじめの主な内容、日光市の特徴について伺います。</p> <p>(2) いじめ防止の基本的方針について</p> <p>他の自治体では「いじめの認知件数が多い方が良い」と、些細ないじめも見逃さない、また「うちの学校は、いじめゼロにする」と、目標を高く掲げる学校もありますが、日光市の場合のいじめ防止に対する基本的方針の考え方について伺います。</p> <p>(3) 発生事案の対処について</p> <p>いじめ問題が発生してしまった場合の各学校が行う直近の事案対処についての概要を伺います。</p> <p>2. 企業誘致について</p> <p>(1) 企業誘致の進捗状況について</p> <p>市長は、地域経済の持続的発展には産業団地を計画</p>

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 12月12日(金)

令和7年12月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
5	5	齊 藤 正 三	<p>的に造成することで企業誘致を図り、特に若い女性の雇用を確保することが人口減少対策の1丁目1番地であると考えを示しております。</p> <p>日光市の財政問題では、令和6年度の経常収支比率は県内25市町で最下位となっており、いかに自力で稼ぐ力をつけ稼ぎ出せるかが重要な政策となります。</p> <p>全国で高い知名度を持つ日光、雄大な自然からの浸透水などを活かした企業誘致の確保を強く望むところです。</p> <p>現在誘致に成功した土沢工業団地のミネラルウォーターの企業が操業に向け準備を行っていると思いますが、間もなく契約から1年になろうとしております。まだ動きが現場では見られませんが、現在の進捗状況を伺います。</p> <p>また、元市場跡地の酒造会社の操業に向けた進捗についても伺います。そして市が設定した民間未利用地での企業立地の情報がありましたら伺います。</p> <p>(2) 新たな産業団地の取組について</p> <p>現在の産業団地周辺の林地を次の候補地として、新たな産業団地造成についてもスピード感を持って取り組むとしております。令和7年度の当初予算に造成可能調査費を計上しました。その調査結果の状況と来年度に向けた取組についてのスケジュールを伺います。</p>